

H26年度 愛臨技精度管理調査 細胞検査部門

精度管理部員 吉本尚子(西知多医療厚生組合 東海市民病院)

実務担当者 橋村正人(国家公務員共済組合連合会 名城病院)
中根昌洋(医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院)
都築菜美(豊川市民病院)

調査概要

参加施設（107施設）

細胞部門参加施設：52施設

実施項目

フォトサーベイ

評価対象設問：10症例

評価対象外設問：2症例

評価方法

症例1～10の判定・推定病変について、正解および許容正解を設定し評価

評価基準

評価A	正解	「基準」を満たし 極めて優れている
評価B	許容正解	「基準」を満たしているが 改善の余地あり
評価C	不正解	「基準」を満たしておらず 改善が必要
評価D	不正解	「基準」から極めて大きく逸脱し 早急な改善が必要

出題症例 (評価対象設問)

症例			正解および許容正解
症例 1	41歳、女性 子宮腔部擦過	判定	HSIL
		推定病変	上皮内癌
症例 2	48歳、女性 子宮腔部擦過	判定	NILM
		推定病変	トリコモナス膣炎
症例 3	70歳、女性 子宮内膜擦過	判定	疑陽性
		推定病変	子宮内膜異型増殖症
症例 4	73歳、男性 喀痰	判定	陰性
		推定病変	ヘルペス感染
症例 5	72歳、男性 自然尿	判定	陽性
		推定病変	高異型度尿路上皮癌 (低異型度尿路上皮癌)

出題症例 (評価対象設問)

症例			正解および許容正解
症例 6	43歳、男性 自然尿	判定	陰性
		推定病変	Decoy cell
症例 7	62歳、男性 甲状腺穿刺吸引	判定	悪性
		推定病変	乳頭癌
症例 8	46歳、男性 胸水	判定	陽性
		推定病変	腺癌
症例 9	55歳、男性 頸部リンパ節穿刺 吸引	判定	陽性
		推定病変	小細胞癌
症例 10	52歳、女性 耳下腺穿刺吸引	判定	陰性 (疑陽性)
		推定病変	多形腺腫

各設問の正解率

	症例 1	症例 2	症例 3	症例 4	症例 5
判定	73.1%	100%	92.4%	100%	100%
推定病変	73.1%	100%	90.4%	90.4%	100%
	症例 6	症例 7	症例 8	症例 9	症例 10
判定	100%	100%	96.2%	100%	100%
推定病変	100%	100%	96.2%	100%	100%

各設問における正解率は、症例1を除き概ね良好であった

症例1

【年齢】 41歳

【性別】 女性

【検体】 子宮腔部擦過

【採取器具】 ブラシ

【臨床所見】 子宮腔部びらん

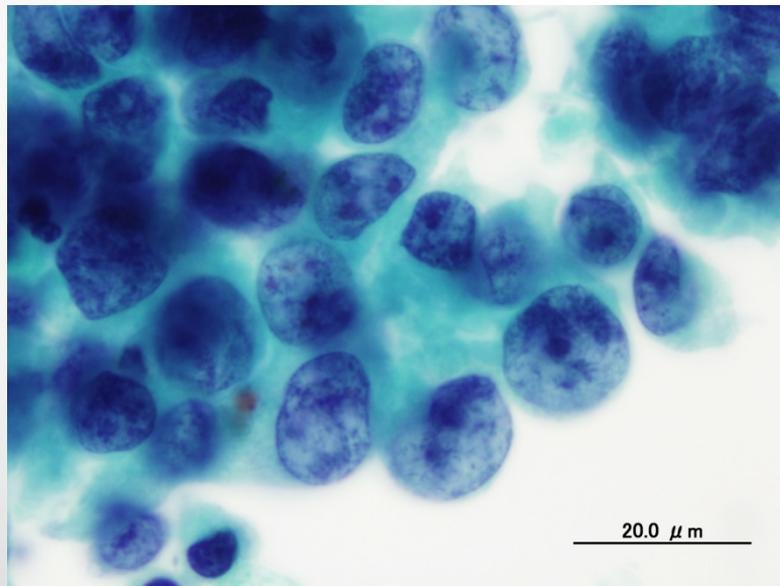
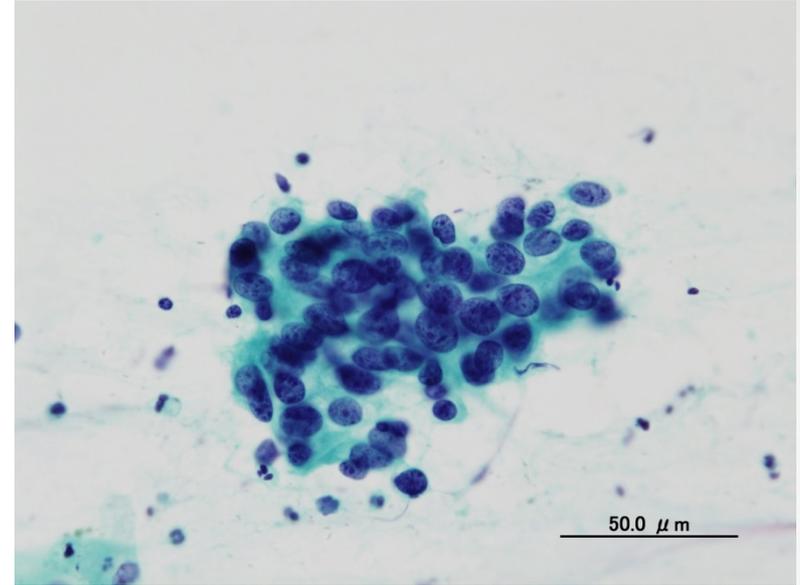
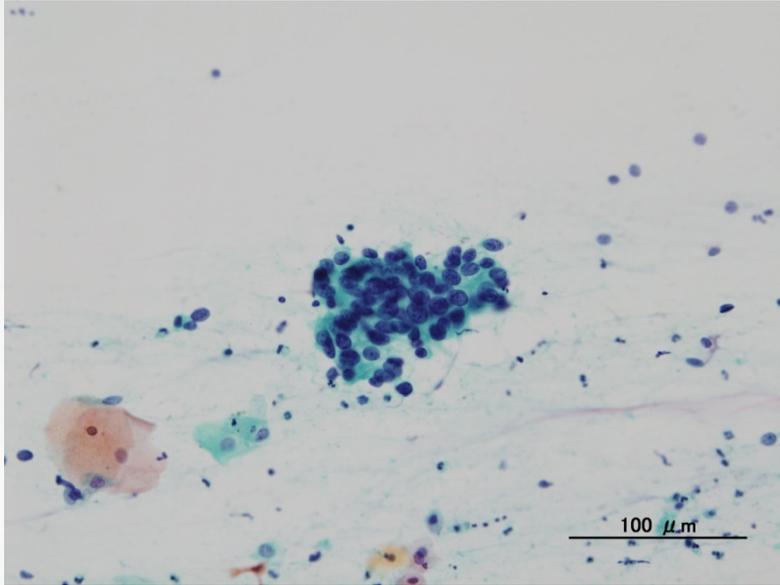
設問1-1 判定

- a.NILM b.ASC-US c.ASC-H d.LSIL e.HSIL f.SCC
g.AGC-NOS h.AGC-Favor Neoplastic i.AIS
j.Adenocarcinoma k.Other

設問1-2 推定病変(推定される組織像)

- a.扁平上皮化生細胞 b.軽度異形成 c.上皮内癌
d.扁平上皮癌 e.腺癌

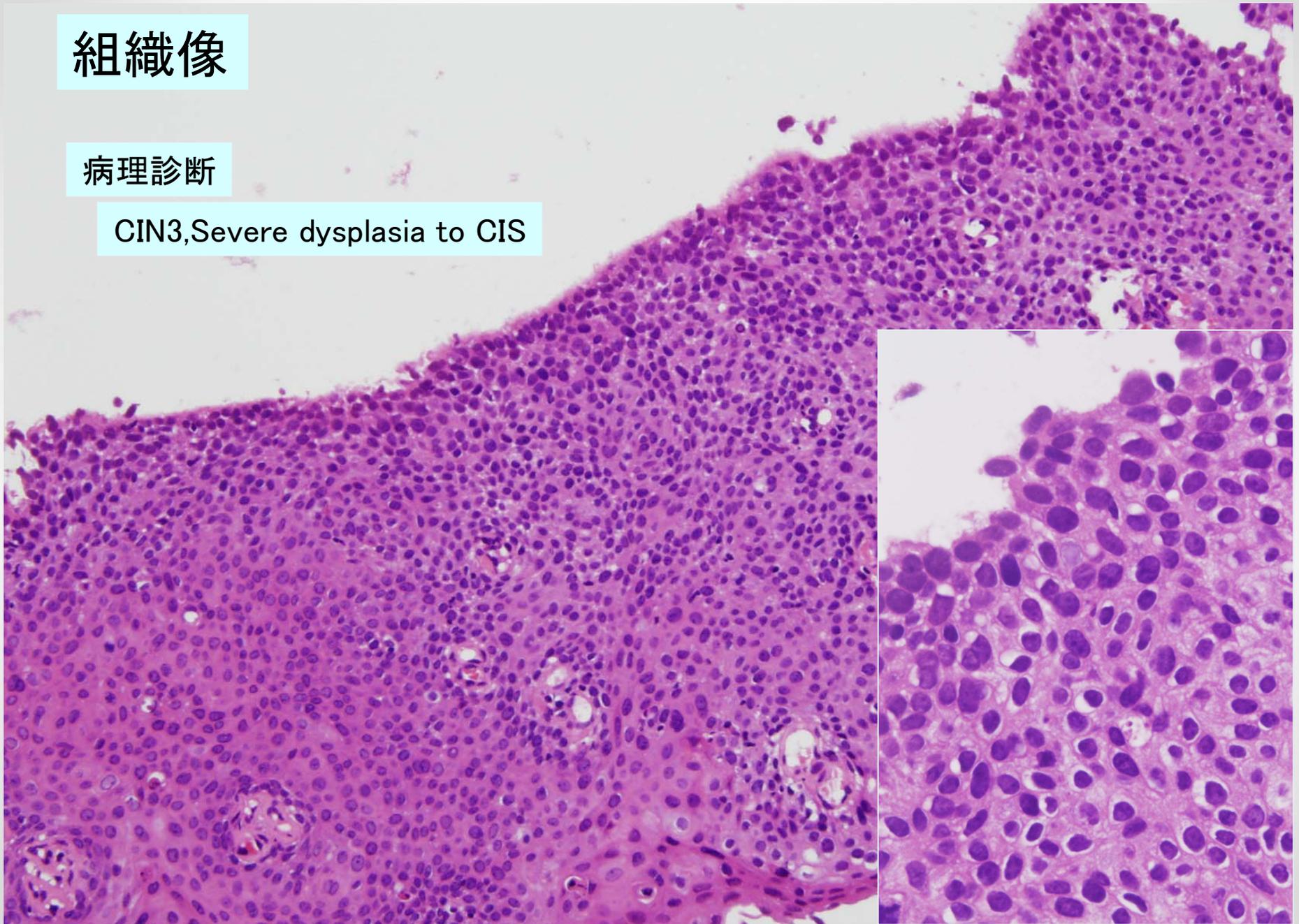
症例 1



組織像

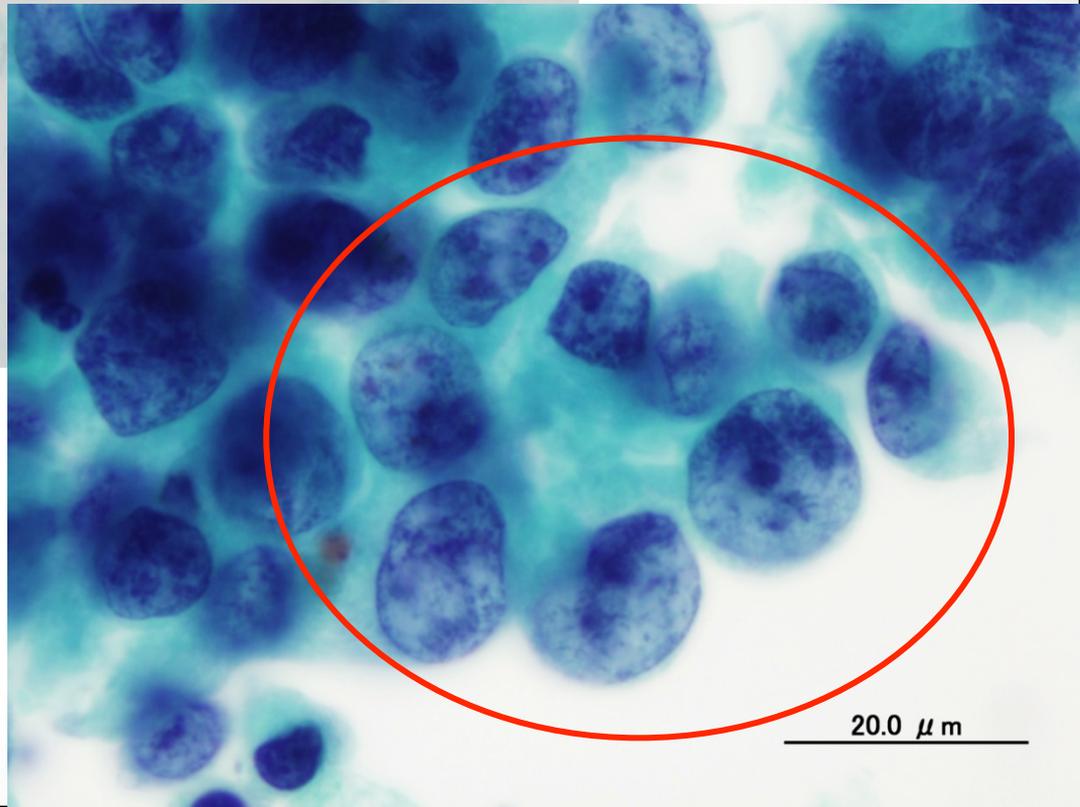
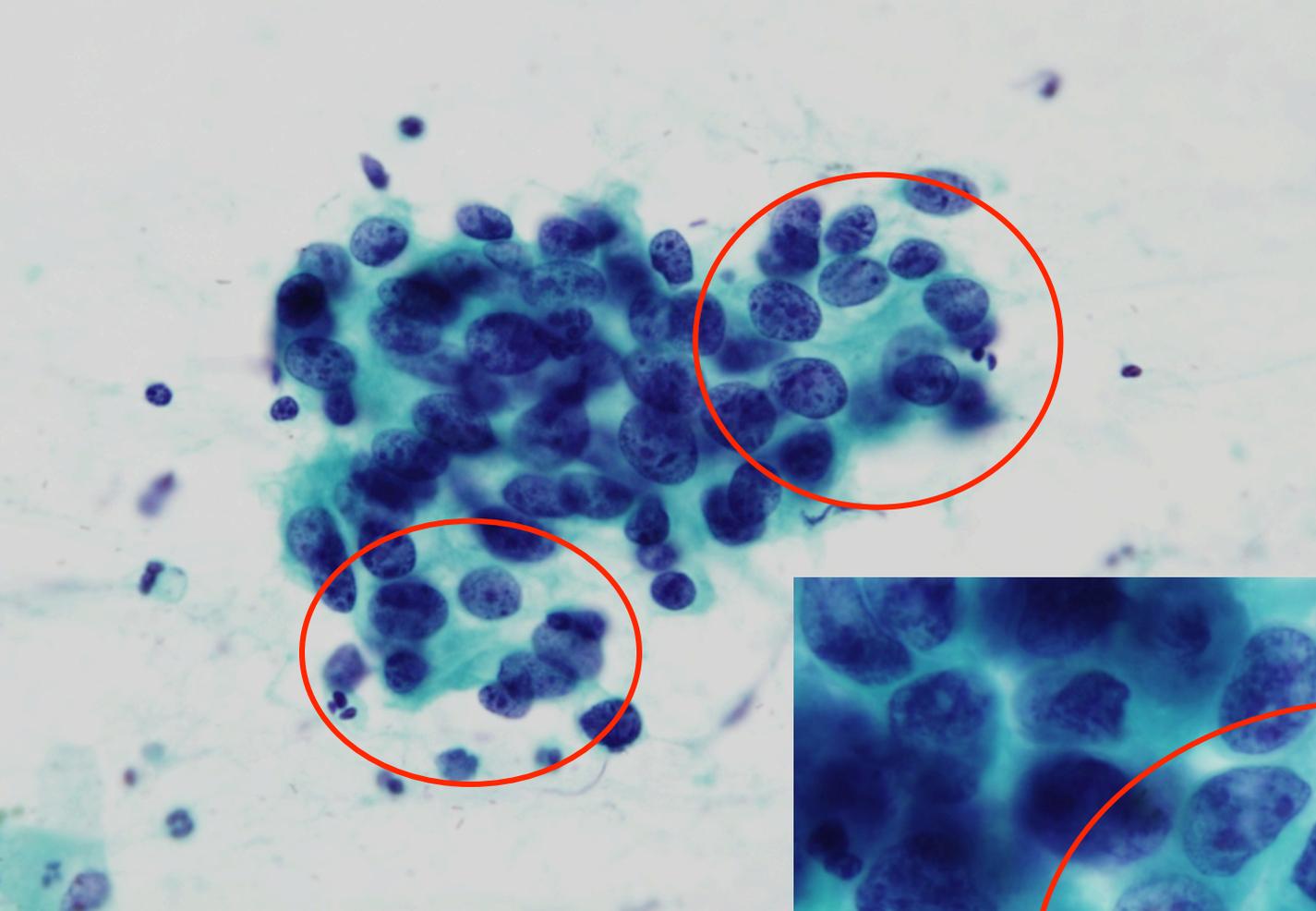
病理診断

CIN3, Severe dysplasia to CIS



症例1 回答一覽

設問1-1 判定		
	回答施設数	回答率(%)
(e)HSIL	38	73.1
(j)Adenocarcinoma	13	25.0
(i)AIS	1	1.9
設問1-2 推定病変		
	回答施設数	回答率(%)
(c)上皮内癌	38	73.1
(e)腺癌	14	26.9



評価対象外設問

昨年度に引き続き、今年度もLBC法にて標本作製した婦人科症例を評価対象外設問として出題した

症例			正解および許容正解
症例11	42歳、女性 子宮腔部擦過	判定	Adenocarcinoma
		推定病変	子宮頸部腺癌
症例12	30歳、女性 子宮腔部擦過	判定	LSIL
		推定病変	軽度異形成

標本作製法： 液状化検体細胞診

(ThinPrep法)

評価対象外設問の正解率

	症例11	症例12
判定	94.2%	100%
推定病変	96.2%	100%

昨年度は、扁平上皮異形成病変の設問でばらつきが見られたが、今年度は良好な結果であった

まとめ

- 各設問の正解率は概ね良好であった
- 症例1については正解率が低かったため、評価対象外設問として扱った
- 評価対象外設問として出題したLBC標本症例は、良好な結果が得られた